

議会だより

No.100
平成25年7月18日

松崎



パドルさばきも軽快に (松崎海洋クラブ)

第2回定例会 (6月11日～6月12日)

- ・ **祝**議会だより100号 記念特集…………… 2
- ・ 平成25年度補正予算 他…………… 4
- ・ 平成24年度企業会計決算…………… 5
- ・ 議員会町内視察…………… 6
- ・ 町政を問う 一般質問に6議員…………… 8

25年間のあゆみ

議会だより100号記念特集

昭和63年11月1日に議会だより創刊号が発刊されて以来、今回で議会だよりは100号を数えるに至りました。創刊から25年、記念すべき100号の発刊に当たり、その変遷をたどりました。



第9号 (平成2年発行)



創刊号 (昭和63年発行)

創刊から現在まで

町の主な出来事

昭和63年

- 議会だより創刊号発刊
- ときわ大橋時計塔完成

平成元年

- 町長に石田常吉氏就任
- 議長に斉藤伝吉氏就任
- 那賀パイパス開通
- 長八美術館入館者100万人達成

平成2年

- 議会だよりA4版へ
- 明治商家中瀬邸オープン

平成3年

- 議長に山本賢一氏就任
- 花の三聖苑オープン
- 伊豆まつざき荘宿泊客100万人達成

平成4年

- 町営温泉8号井(桜田)湧出
- 天皇皇后両陛下「長八美術館」御見学
- 町営温泉9号井(那賀)湧出

平成5年

- 第3次総合計画策定
- 旧大沢学舎移築復元

平成6年

- 海洋センタープール温水化

平成7年

- 議長に佐藤順三氏就任
- 議長に山本勝氏就任
- 議長に鶴田勝弘氏就任
- 議員定数を16人から14人へ削減

平成8年

- サンセットヒル松崎オープン
- 花の三聖苑に「かじかの湯」オープン

平成9年

- 町長に笹本和彦氏就任
- 町長に森惣二氏就任
- 生涯学習センター完成

平成10年

- 「長八美術館」公共建築百選に選定

平成11年

- 議長に深沢進氏就任
- クリーンピア松崎開所
- 町営伏倉小坂住宅落成

平成12年

- 町制施行100周年
- ゴミの分別収集開始

議会だより100号に寄せて

議長 稲葉昭宏
今回、「議会だより」が記念すべき100号を迎え、松崎町議会の歴史と伝統の重みを改めて認識している。

議場は、議員にとって、使命と責務を果たす真剣勝負の舞台である。

特に、一般質問では、各議員が町政への考えを提言し、当局と論戦を交え、時には激しく追及することもある。

本誌は、一人ひとりのこうした活動を情報提供する唯一の手段であり、議員と住民の皆様を結び、重要な命綱的な役割を果たすものだと考える。

時を同じくして富士山の世界文化遺産への登録が正式に決定した。

私たち議員は、松崎町が富士山のように輝ける日本一の町になるよう活動していく所存である。

創刊から100号まで



第82号（平成21年発行）



第59号（平成15年発行）



第26号（平成7年発行）

- 平成13年 町長に深沢進氏就任
- 議長に菊池純平氏就任
- 平成14年 第4次総合計画策定
- 石部・赤根田村百笑の里開村
- 平成15年 議長に高橋和泉氏就任
- 西豆3町村合併協議会設置
- 平成16年 伊豆まつざき荘、西豆衛生プラント建設工事着工
- 西豆3町村合併協議会解散、合併破綻
- 平成17年 議長に稲葉昭宏氏就任
- 小学校統合条例可決
- 平成18年 伊豆まつざき荘新装オープン
- 県市町村合併推進構想で賀茂1市5町の枠組みを発表
- サンセットヒル松崎閣
- 平成19年 議長に斉藤貞一郎氏就任
- 岩科小・三浦小閉校
- 西豆衛生プラント落成
- 議員定数を14人から10人に削減
- 平成20年 議長に遠藤美和子氏就任
- 南川に水門完成
- 初の住民投票実施
- 南伊豆地区1市3町合併協議会設置
- 帯広市開拓姉妹都市締結30周年
- 平成21年 町長に斉藤文彦氏就任
- 議長に一瀬寿一氏就任
- 南伊豆地区1市3町合併協議会解散、合併破綻
- 平成22年 全国棚田サミット開催
- 中川小閉校
- 平成23年 議長に斉藤重氏就任
- 平成24年 幼稚園統合2園体制に
- 平成25年 第5次総合計画策定
- 議長に稲葉昭宏氏就任
- 議会、たより第100号発刊



第18代議長
鶴田勝弘



第13代議長
矢谷慶治

私は、平成7年から4年間、議長職に就任した。当時の取り組みとして思い出されるのは、議員定数2人の削減、サンセットヒル松崎、かじかの湯、生涯学習センター、雲見焼却場、町営小坂住宅、宮の前橋など。在職時の4人の町長と親愛なる同僚議員に感謝する。

思えば昭和62年の春、我が議会でも「議会、たより」の発行を考えるべきであるとの多数の意見を踏まえ、幾度かの先進地研修を重ね、第1号を創刊した。今回、100号の記念特集と聞き、感無量である。さらなるご活躍を祈る。

平成25年6月定例会

平成25年第2回定例会を6月11日から12日までの2日間にわたり開催しました。

今定例会では、町当局から平成25年度補正予算など10議案が提出され、すべて可決したほか、重度障害者(児)医療費助成制度の適用改善を求める意見書についての発議を可決しました。

一般会計 補正予算

問 道路ストック点検業務委託事業の内容は。

産業建設課長 国の交付金事業を活用し、町道の舗装状況などを点検する。緊急度に応じて補修計画を作成し、整備していく。

問 設計業務の外部委託が多いが、技術職員を養成する考えはないか。

副町長 技術職員の採用について今後検討を指示していきたい。

問 観光費に計上されている展示ケースの用途は何か。

企画観光課長 ジオパーク構想の中で、*デジタルセンターを中瀬邸の蔵に設ける予定だが、そこに化石などを展示するケースを設置する。

デジタルセンターとは地域の地形や地質などについて、大地の成り立ちを理解できるよう解説、展示するための施設。

問 津波避難タワーの建設が計画されているが、今後補正予算で追加する予定はないか。

町長 今年度1基設置して住民の皆さんにも見ていただき、意見を聞きながら進めていきたい。

国民健康保険税 条例の一部改正 補正予算

国保税の税率を平均15%アップする内容。また、これに併せ一般会計から3千100万円の繰り入れを行う。

平成25年5月6日現在で国保の被保険者数は2千890人。世帯数は1千631世帯。

問 基金が積み立てられない状態だが万一の場合、不足が生じないか。

健康福祉課長 700万円を予備費に計上し、対応したい。重複診療の削減、*ジェネリック医薬品の利用などと呼びかけていきたい。

ジェネリック医薬品とは医薬品の特許が切れた後に、別のメーカーが同じ有効成分でつくる薬のこと。先発医薬品と比べ、価格は安い。

問 今後の国保の見通しを定めた中で、余裕を持った運営が必要ではないか。健康福祉課長 平成23年度に10%、今年度15%のアップとなった。給付費を抑える施策を展開するとともに次年度以降の見通しも早めに見極めていきたい。

問 恒久的に一般会計から繰り入れをするのか。

町長 繰り入れありきではないが、せざるを得ない状況である。県内35市町のうち一般会計から繰り入れをしているのは26市町である。

問 国保の運営を県が一括して行うという話があるようだが、見通しは。

町長 運営を市町から都道府県へという話があり、郡町長会でも話題になっている。見通しは分からないが、どの市町も運営は厳しく、そういう形がいいと思っている。

◎国保条例の一部改正

反対討論

一般会計からの繰り入れは評価するが、家計への負担は大きい。予防医療の充実に努めるべき。

賛成討論

加入者による負担、受益が原則であり税率改正は避けて通れない。一般会計からの繰り入れにより、急激な上昇も抑えられている。加入者への周知徹底を要望する。



6月定例会議場

平成24年度
企業会計決算

決算の概要は広報
まつぎ7月号をこ
覧ください。

水道事業

問 大沢新水源の井戸は、いつ、どのくらい掘削したのか。

生活環境課長 平成13年度から平成14年度事業で71.5㍉掘削した。

問 石部・八木山地区で新水源調査ボーリングが行われたが、どの程度の湧水量があったのか。

生活環境課長 掘削深度は20㍉で、湧水量は石部が150m³/日、八木山が27m³/日。それぞれ500m³/日を期待したが残念な結果となった。

問 水質検査委託期間を単年度ではなく3年間としている理由は何か。

生活環境課長 3年間の費用が確定することで財政的な安定化が図られる。このため、債務負担で3年間としている。

温泉事業

問 公共施設の売上はどの程度か。

生活環境課長 伊豆まつぎ荘が年間635万円、海洋センターが40万円と収益面では大きな割合を占めている。

問 温泉の湧出量は毎分どのくらいあるのか。

生活環境課長 源泉5本で2千400㍉の能力があるが、現在は平均千㍉程度を供給している。現状では十分供給能力はある。

問 設備の老朽化はどのように判断するのか。

生活環境課長 管路については、一定の区間で漏湯があれば取り替えを行う。目視できる部分については、技師が判断している。

まつぎ荘事業

問 民間委託への考えはないか。

町長 平成24年度決算で約2千600万円の赤字となったが、職員はよくがんばったと思っている。

町内仕入も4千万円以上あり、その波及効果は計り知れない。一つの企業誘致である。今後も振興公社を中心にやっていきたいと考えている。

問 改善の余地があるとするばどのような具体策があるか。

町長 夕食メニューの見直し、ツアー客の誘致、宿泊料金の引き下げなどを検討している。

問 公共の宿全体におけるまつぎ荘の位置は。

企画観光課長 公共の宿は全国で14施設あるが、宿泊利用率で比較すると22位。全体の平均は、31.8%でまつぎ荘は、39.8%であった。

第2回定例会の賛否状況一覧

| 件名 / 議員 | 藤井要 | 福本栄一郎 | 佐藤作行 | 高柳孝博 | 土屋清武 | 関唯彦 | 斉藤重 | 一瀬寿一 | 鈴木源一郎 |
|--|-----|-------|------|------|------|-----|-----|------|-------|
| 松崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 社会福祉法人の助成に関する条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 平成25年度松崎町一般会計補正予算（第1号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 平成25年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 平成24年度松崎町水道事業会計収入支出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 平成24年度松崎町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 平成24年度松崎町温泉事業会計収入支出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 平成24年度松崎町温泉事業会計未処分利益剰余金の処分について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 平成24年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつぎ荘」業会計収入支出決算の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 固定資産評価審査委員会委員の選任について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

議員会町内視察

工事の費用対効果などをチェック

議員会は6月6日、平成24年度に施工された工事箇所の中から8カ所を選定し、現場視察を実施した。

また、ハーブ園、温泉貯湯タンクおよび八木山浄水場施設についても併せて現地を確認した。

◎津波監視カメラ整備工事

工事費 598万3千950円(うち県費補助金299万1千円)
業者名 西日本電信電話(株)静岡支店

工事概要 監視カメラ設置4カ所・録画サーバー1台。

監視カメラを伊豆まつぎさ荘屋上、岩地一里塚、石部棚田駐車場、雲見くじら館に設置し、パソコン画面上で海面の状況が

監視出来るよう整備した。設置されたカメラは観光用の画像を提供する用途にも活用されている。



津波監視カメラの画像を確認

◎津波避難誘導灯設置工事

工事費 357万8千400円(うち県費補助金119万2千円)
業者名 (株)依田電機

工事概要 ソーラー照明

灯設置4カ所・蓄電池内臓型LED照明灯1カ所。



江奈官舎裏ソーラー照明灯

地区高台避難地へ夜間でも円滑な避難ができるようにソーラー照明灯を整備した。

今回の設置箇所は、地区要望のあった江奈官舎裏避難地、相生堂入口、伊那下神社横避難路のほか松崎小学校玄関、松崎中学校裏階段の5カ所。

◎町営テニスコート改修工事

工事費 2千565万2千550円
業者名 花菱建設(株)伊豆支社

工事概要 人工芝張り替

え3面・フェンス取り替え287坪・テニスボール取り替え3組。

老朽化したコート3面の人工芝の張り替えとコート周辺のフェンス張り替えを施工した。テニスコートは年間約100万円の使用料収入がある。



人工芝の張り替えが行われた町営テニスコート

◎町営野球場ネットフェンス改修工事

工事費 135万2千400円
業者名 尾中建設(株)

工事概要 野球場の老朽化したネットフェンス1塁側高さ3.1m・延長22.1m、

外野側高さ1.2m・延長58mを張り替えた。



改修されたネットフェンス

◎重文岩科学校公衆トイレ整備工事

工事費 954万6千600円(うち県費補助金400万円)
業者名 (有)高建築設計
工事概要 多機能トイレ1棟(8.28㎡)・合併処理浄化槽(50人槽)・誘導看板1基。

既存の公衆トイレに隣接して障害者対応のバリアフリー式トイレを整備した。担当課には、乳児などのおむつ替え用設備を追加設置するよう要望した。



岩科学校に整備された多機能トイレ

◎町道船田門野線防災工

工事費 1千934万3千100円

業者名 西伊豆貨物自動車棟

工事概要 施工延長36.6m・落石防護網400㎡・吹付法砕工368㎡ほか。

平成23年9月21日に発生した台風15号により、崩落が発生した箇所の本復旧を図ったもの。

災害復旧工事について、早急に発生箇所を確認し、国庫補助事業に該当する場合は、積極的に申請するよう要望した。



防災工事（船田）

◎道の駅「花の三聖苑伊豆松崎空調機取替工事

工事費 228万9千円

業者名 有光岡電機工業

工事概要 老朽化した空調機の取り換えを行ったもので内訳は室内機3台、室外機2台、天井扇3台。

◎道の駅「花の三聖苑伊豆松崎冷蔵庫取替工事

工事費 76万5千450円

業者名 有光岡電機工業

工事概要 故障に伴い、冷蔵庫1台を取り替え、併せて流し台の移設を行う



ハーブ園（三聖苑横）

た。配置替えにより作業効率の向上が図られた。

◎ハーブ栽培

昨年度から耕作放棄地を活用したハーブの実証栽培が行われている三聖苑横のハーブ園を視察した。

農業再生協議会が事業主体となり、収穫されたハーブを使った製品も商品化されているが、販路開拓をはじめとする今後の展開について、町も積極的に関わるよう要望した。

◎第1配湯所



第1配湯所（宮内）

宮内地区にある温泉施設第1配湯所には、30スタ

ンク（昭和48年設置）と50スタ

ンク（昭和50年設置）、120スタ

ンク（平成5年設置）および管理棟が整備されている。施設の改修については、耐用年数にとらわれないこととなく修繕・更新計画を検討し、現状に適した改修となるよう議論を深めていきたい。

◎八木山浄水場

岩科地区および岩地・石部地区に水道水を供給している施設。

設置後、45年が経過し、老朽化は進んでいるが、施設は問題なく稼働している。

今後、人口減少により給水戸数も減ることが想定される中、施設の規模の再考をはじめ、インフラ整備については真に必要な事業であるか見極めることが重要である。



八木山浄水場

（副議長記）

町政を問う

問

いじめ・体罰の対策は

答

いじめ7・体罰1件の報告



藤井 要 議員

問 教育委員会には、教育委員長と実務を統括する教育長が併存しており、重大事案が発生した場合に迅速な対応が取れるのか疑問である。また、危機管理組織は構築されているのか。

答 (町長)

平成24年度の報告では、いじめが小学校で3件、中学校で4件、体罰の報告が1件であったが、いずれも解決済である。

問題発生時には、学警

連という組織で協議しながら対応する。また、明らかに犯罪だという場合には、すぐに警察へ届け出ることになる。

答 (教育長)

大津市の事件では、教育委員会と現場である学校において意志の疎通ができていないと感じた。事が起きてからの対応ではなく、その前の対応が重要だと思っている。

問 松崎町と西伊豆町の

教育委員会の統合について、町長はどのように考えているのか。

答 (町長)

子どもが少なくなってきた、最終的には教育委員会も一つの形になるような気がする。

答 (教育長)

現在、安倍内閣において、教育委員会制度を見直す案があるが、現状では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の壁がある。

問 ハーブの栽培結果は

答 180kg収穫し、製品化

問 休耕田の有効活用としてハーブの実証栽培、

製品の試験的販売が行われたが、知らない町民も多い。なぜ町のキャラクターである「まっちー」を使った宣伝をしないのか。6次産業化に向けた今後の計画は。

答 (町長)

6次産業化を考察する

上での実験となったが、

栽培管理の容易さや食用、薬用など用途の多様性があり、耕作放棄地の再生作物として可能性がある。栽培作物として定着するには収益性も条件となるので、販路や出荷の条件など市場調査に時間が必要である。

問 古民家保存対策は

答 町の文化財登録も

問 町内に現存する文化

財的な価値がある家屋の売却や解体の話聞くが、当町では、これらの家屋の維持保全にどのように取り組むのか。

答 (町長)

伊豆文邸のように建物については寄贈していただき、土地をお借りする場合はいろいろな方策があるが、全て町が購入することは難しい。町指定有形文化財として登録し、助成するなど、いろいろな方策を考えていきたい。



古民家の維持保全は (伊豆文邸)



まちづくり委員会準備会（伊豆文邸で）



高柳 孝博 議員

問 総合計画の住民参加は

答 広報・各団体の会議で

問 第5次総合計画において、住民の役割をどのように浸透させるのか。

答（町長）

各戸配布した概要版には、各計画における住民の役割は記載していないが、子どもから高齢者まで全ての人が参加して協働のまちづくりが重要である旨を記載している。

今後、事業実施に当たり、広報やお知らせ版で積極的に広報するだけでなく、町や各種団体が開催する会議で町民・地域の役割を伝えていく。

問 重点施策の状況は

答 3つの計画事業で

問 重点施策において、特に力をいれる事業は。

答（町長）

第5次総合計画において、前期5年間で特に力を入れて行う重点プロジェクトは、①「光り輝く人づくり」、②「安全・安心の住みよいまちづくり」、③「地域の魅力・資源活

用」である。

初年度となる今年度は、①については、空家バンクの創設やまちづくり委員会の立ち上げを行う。

②については、防災、減災体制の強化を重点とし、避難タワーの早期着工を目指す。③については、ハーブ実証栽培のほか、農業振興、鳥獣被害対策の継続、全町まるごとふるさと自然体験学校を指したグリーンツーリズム事業を推進していく。

問 指標の達成に向けた施策の進捗管理は、帳票の活用は。

答（副町長）

主要な事業は、一覧表にして各担当課へ配布し、月末に進捗状況を課長会議で確認している。

問 まちづくり委員会は

答 6月末に立ち上げ

問 委員会の目的、目標と役割はどのようなものか。

答（町長）

委員会では、「日本で最も美しい村」連合への加盟に向け、自分たちの町を良くしようという認識を持った皆さんにご参加いただき、行政と協働による「誇り」と「愛着」を持った町づくりを推進する。参加者にはリーダーとして団体や住民の牽引者の役割を担っていただきたいと考えている。

問 委員会の取り組みは。

答（町長）

準備会を3回開催し、活動、組織、スケジュールの説明と共通認識を図るための講演やまちづくり活動の進め方の勉強を行った。6月末に組織を立ち上げる予定である。

問 今後の行動計画は。

答（町長）

地域資源の宝探しや一番づくり活動、他団体との連携活動、景観基本計画などを検討して進めていく。

問 町の子育て支援は

答 他市町との大差はない



佐藤 作行 議員

問 子ども医療費助成制度の現状と利用状況は。

答 (町長)

子ども医療費助成については、平成20年に1回に付き500円の自己負担を廃止、平成21年に所得制限を廃止、平成22年から助成対象を中学3年生までに拡大し、現在に至っている。

制度についての周知も図られており、対象となる全員がこの制度を利用している。

今後の取り組みについて、他市町と比較しても大きな差は無いので、改正は考えていない。

問 特養ホーム待機対策は

答 必要性の高い方は7人

問 当町の特別養護老人ホーム入所希望者は。また、必要性の高い方の人数は。

答 (町長)

町の助成額は、平成22年度934万8千円、平成23年度1千559万円、平成24年度は1千623万円となる見込み。

問 今後の取り組みは。

答 (町長)

この制度により子育て世帯の経済的負担は減り、少子高齢化対策としては有効な施策であり、町にとっても子供が健康に成長することは大切なことである。

据えた施策は。

答 (町長)

松崎町の介護認定者数は、年々増加しているが、主に要支援の方の増加であり、特別養護老人ホームに入所することが適当と思われる要介護状態3以上の方は、この数年間、ほぼ一定である。

また、特別養護老人ホームへの待機者についても、あまり変動せずに推移するものと思われる。

特別養護老人ホームに入所することは、重度の

介護状態であるため、本人はもちろんのこと、家族にとっても介護保険会計にとっても喜ばしいことではない。

町では、特定健診やがん検診をはじめとする各種の健康対策事業や介護予防事業を実施することにより、住民一人ひとりが健康に関する意識を向上させ、病気や要介護にならないように努力していくことが待機者を少なくする施策であると考えている。



子育て支援の充実は (予防接種会場で)

問 5年後、10年後を見

問

農道からの雨水が原因では

答

法面の急勾配造成が原因



鈴木 源一郎 議員



町道星山線の復旧は（岩地）

問 岩地地区入口付近で昨年4月に発生した町道星山線崩落災害について、当局は、個人の山が崩落した災害のため、復旧工事における自己負担金を通常の15%としている。

答（町長） 被災者との調停が不成立になっているが、崩落の原因は、同住宅建設時の造成の際、切土勾配が急で不安定化しやすい状況であったことが主な原因である。

また、裏山上方の農道道部岩地線から雨水が流れ落ちたことが原因であるとの主張については、専門業者に調査を依頼した結果、崩落の原因とは認められなかったため、通常の自己負担率をお願いしている。

問 裏山上方の農道道部

岩地線からの雨水が被災住宅の直上にある町道星山線の山側に設置された擁壁に溜まり、地下を浸透し、被災住宅裏側のコンクリート吹付け斜面を押し下がったことが今回の災害において大きな原因ではないか。

答（町長） 町は専門業者に委託し、技術的な裏付けの下、報告書が提出されている。それが違うと言われたらどうしようもない。

問 専門業者に委託しようとする痕跡が明瞭ならば、考え方を要する必要がある。ゴミや竹の切り株などが大量にある急斜面を水が流れたことを特定することは非常に難しい。専門業者でも見当違いは起きる。事実をしっかりと

答（町長） 狭い場所でも施工可能であり、家屋への影響も少なく、水処理能力の高い工法のため、提案している。施工事例はあり、産業建設課に現場写真などもある。

問 管理できる工法を

答（副町長） 専門家が現場を踏査し、一応合理的な判断をした上で報告書を提出している。この報告書は議員の皆様にも配布している。

問 施工可能な工法で

答 調停不成立のもう一つの原因である復旧工法について、当局が提案するテラセル工法ではなく、完成後、住宅との間に入り管理しやすい工法を被災者は望んでいる。

問 調停不成立のもう一つの原因である復旧工法について、当局が提案するテラセル工法ではなく、完成後、住宅との間に入り管理しやすい工法を被災者は望んでいる。

答（町長） 狭い場所でも施工可能であり、家屋への影響も少なく、水処理能力の高い工法のため、提案している。

問 施工事例はあり、産業建設課に現場写真などもある。

答（町長） 狭い場所でも施工可能であり、家屋への影響も少なく、水処理能力の高い工法のため、提案している。

問 施工事例はあり、産業建設課に現場写真などもある。

答（町長） 狭い場所でも施工可能であり、家屋への影響も少なく、水処理能力の高い工法のため、提案している。

問 施工事例はあり、産業建設課に現場写真などもある。

答（町長） 狭い場所でも施工可能であり、家屋への影響も少なく、水処理能力の高い工法のため、提案している。

問 施工事例はあり、産業建設課に現場写真などもある。

答（町長） 狭い場所でも施工可能であり、家屋への影響も少なく、水処理能力の高い工法のため、提案している。

問 施工事例はあり、産業建設課に現場写真などもある。

答（町長） 狭い場所でも施工可能であり、家屋への影響も少なく、水処理能力の高い工法のため、提案している。

問 農業振興について

答 耕作放棄地の再利用を



土屋 清武 議員

問 当町の桜葉生産量は、全国1位であるが、最近では、耕作者の高齢化などにより、生産量が著しく減少していると聞く。現在の耕作面積は。

答 (町長)

正式な統計資料が無く、推計値となるが、桜葉生産農家数は、平成12年に190戸の農家で30畝の栽培面積であったが、平成22年には、100戸の農家で20畝の栽培面積となり、大幅に減少している。昨年、

かるようになったことも耕作者減少の一つの要因である。

問 今後も生産量日本一を維持するため、調査研究すべきでは。

答 (町長)

町がどのように支援できるか考えていきたい。

問 町内の有志によって休耕地に桑の葉を栽培し始めたが、町の対応は。

答 (町長)

独自で進めていくとのことだが、ハーブの試験栽培と同様に耕作放棄地解消や高齢化に伴う転換作物として大きな可能性を秘めた取り組みだと考えている。今後の活動を注視していく。

問 雲見漁港の整備は

答 地元と相談し対応

問 台風以外の西風などでも、波の高さが2〜3mの予報が発表されると、雲見漁港の船は松崎港に

避難しなければならぬ。今後、雲見漁港をどのように整備、管理していくのか。

答 (町長)

雲見漁港は波の当たりが強いだけでなく、波が入りやすい構造であり、改修を重ねてきた。今後も国などの補助事業で整備を検討していきたい。

台風時の避難問題を含め、要望を伺っている中で、地元と相談しながら対応していく。

問 老人ホーム誘致は

答 南伊豆町を注視

問 南伊豆町では、雇用の確保および地域経済活性化のため、東京都杉並区の特別養護老人ホームを誘致すると聞くが、町長はどのように考えるか。

答 (町長)

南伊豆町長から、国との折衝が大変で、時間がかかるかと聞いている。今後、南伊豆町の動向を注視していく。



桜葉栽培の今後は (中学生の桜葉収穫体験)

問 離れて暮らす親の介護は

答 534世帯が独居高齢者



福本 栄一郎 議員

問 当町では、高齢者世帯、一人暮らし世帯が増え、当該世帯では、日常生活の中での安心・安全が保たれず、日々不安が増幅しつつある。

職場の関係上、親との遠距離別居が多い中、遠距離介護についての考えと取り組み状況は。

答 (町長)

当町の独居高齢者世帯は534世帯、夫婦高齢者世帯は441世帯であり、高齢化率は38.8%となっている。

介護の基本だと考える。

問 当町では、3軒に1軒が独居もしくは夫婦高齢者世帯である。

振り込め詐欺や送り付け商法などによる被害が多発している中、こうした世帯を見守る地域包括支援センターの役割は。

答 (健康福祉課長)

役場の中に設置している地域包括支援センターは、高齢者の生活を見守ることを目的に設置しており、詐欺に係る相談も受け付けている。

問 帰省費用の補助は

答 考えていない

問 離れて暮らす家族は、帰省し、顔を見せれば親は安心する、子どもも親の顔を見れば安心する。

しかし、帰省するためには、旅費が掛かる。

そこで、制度化されているふるさと納税金を使って帰省するための遠距離

割引補助制度を作る考えは。

答 (町長)

私の考えは、非常に冷たく聞こえるかもしれないが、介護保険の制度内でやってもらいたい。

問 森林の管理状況は

答 管理は積極的に推進

問 林業従事者の高齢化や担い手不足、木材価格の低迷などにより、森林

が荒廃し、山地災害の発生や鳥獣被害の原因にもなっている。町有林、民有林の管理状況は。

答 (町長)

当町の森林面積は、総面積の約84%を占める。森林は、水源涵養などの大きな役割を担っている。整備に当たっては、町有林は国の事業などで、民有林については、県の補助事業を積極的に使い、対応する。



森林の管理状況は (岩科財産区有林)

第2回定例会

6月定例会におけるその他の議決事項などについてお知らせします。

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

委員3人のうち1人が辞職により欠員となつていたため、山本進氏(62)(伏倉)を選任したい旨の同意を求められ、全会一致で同意した。
任期は平成28年6月22日までの3年間。

議会のうごき

4月

- 4日 広報編集委員会
- 11日 広報編集委員会
- 18日 議会だより99号発行
- 26日 議員会勉強会

5月

- 1日 第2回臨時会
- 14日 下田地区消防組合議会全員協議会
- 17日 西豆自治会
- 23日 静岡県町村議会議長会総会(静岡市)
- 24日 賀茂郡町議会議長会(西伊豆町)
- 28~29日 全国町村議会正副議長研修会(東京都)

6月

- 4日 議会運営委員会・広報編集委員会
- 5日 地方議会連絡協議会研修会(静岡市)
- 6日 議員会町内視察
- 11~12日 第2回定例会
- 24日 西豆衛生プラント組合議会

◎重度障害者(児)医療費助成制度における精神障害者の適用改善を求める意見書
昭和48年、県による重度障害者(児)医療費助成制度が開始された。

この制度では、精神障害者について、手帳1級所持者のみが対象になっている。意見書は、手帳2級、3級所持者の精神科入院医療費についてもこの制度の対象に加えるべきとしたもの。
全会一致で可決し、県知事へ意見書を送付した。

◎松崎町一般会計繰越明許費の報告
平成24年度に予算措置された事業のうち、南郷橋耐震補強補修工事、マスコットキャラクター製作事業など5事業について翌年度に繰り越す報告を受けた。繰越額は5千20万7千円。

◎水道事業会計繰越明許費の報告
水道事業基本計画及び認可申請書作成業務について翌年度に繰り越す報告を受けた。繰越額は1千40万円。

稲葉議長
賀茂郡町議会議長会
会長に就任

5月24日開催の賀茂郡町議会議長会において、稲葉議長が郡議会議長に就任しました。
また、静岡県町村議会議長会において監事に選任されました。

この議会だよりは、3千100部作製し、1部当たりの製作費は約46円です。

海鳴り

今定例会の最重要案件は、伊豆まつぎき荘の平成24年度決算認定であった。4年連続の赤字が続く、平成21年度からの累積赤字は約1億3千万円になる。町営のため、留保資金が枯渇した場合、一般会計から繰り入れることが想定され、大変深刻な状況である。

議会としては、今後の対応についても当局をたどしたが、町長は次年度からも現体制を継続すると答弁した。

公社への委託は、今年度末が期限となる。現場では、内部改革や経費削減の努力を重ねている。議会も何回となく運営について言及してきたが、現場と当局との認識の差にも問題があると感じる。議会としては、公営で運営していくことに大きな危機感を持っている。今後当局の対応を監視していくかと思ふ。
(議長)